

第2回安曇野市行政改革推進委員会 会議概要

- | | | |
|---|-----------|--|
| 1 | 審議会名 | 第2回安曇野市行政改革推進委員会 |
| 2 | 日 時 | 平成21年1月28日(水) 午後1時20分から午後3時10分まで |
| 3 | 会 場 | 三郷総合支所3階講堂 |
| 4 | 出席者 | 白澤亀内会長、浅川文彬副会長、小口憲政委員、尾台ゆみ委員、唐澤武志委員、
武井辰雄委員、林茂子委員、平倉重則委員、牛山宣久委員、加々美孝男委員、
小松洋一郎委員 |
| 5 | 市側出席者 | 坂内総務部長、西澤行政改革推進室長、等々力同室々長補佐、平林同室係長
平林農政課長、小林農政課庶務担当係長、文化課上係係長 |
| 6 | 公開・非公開の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴人 | 1人 記者 3人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成21年2月6日 |

協 議 事 項 等

1 会議の概要

(1) 開 会 (浅川 副会長)

(2) 会長あいさつ (白澤 会長)

(3) 議 事

- ① 20年度行政改革の取組み状況について
- ② 第三セクターの経営改善等に関する市の考え方について(報告)
 - ・ 出資法人等の課題に対する改善促進チーム報告書について
 - ・ 三郷農業振興公社改善促進チーム報告書(中間報告)について
 - ・ 豊科文化財団改善促進チーム報告書について

(4) その他

(5) 閉 会 (浅川 副会長)

2 審議概要

副会長：13名の委員のうち、本日は11名の出席ですので、安曇野市行政改革推進委員会設置条例第5条第2項により会議は成立していることを報告する。

議長として白澤会長が議事進行を行なう。

- ① 20年度行政改革の取組み状況について
別添「平成20年度安曇野市行政改革取組状況報告」(12月1日現在)を事務局が説明する。

委 員：「本庁・総合支所の総合支所の総合的な見直し」項目について、市民説明会は、建設基本構想案の答申後に必要に応じて開催するといっていますが、市民の関心は高く、現段階においても市民説明会開催の要望がある。市の考え方はどうか。

事務局：できましたら、現時点の報告として2月から各地域への説明会を実施したいと考えています。

委 員：地域審議でも本庁舎建設ありきで審議している。一方、反対運動も行なわれてきている。市の方向も建設ありきでよいのか。反対意見の方達へはどのような対応をしているのか。矛盾も感じている。

事務局：その本庁舎建設の見直しを求めている方達へは、具体的には2回ほど十分な説明を行なってきています。財政面、現総合支所建物の耐震についてなどの説明です。6,000人を超える方の署名をいただいたが、すべてが反対ということではなく、見直しのための反対や場所の問題提議などであった。現在、審議会で審議しています。

事務局：現在の8つの庁舎でどのような不便をきたしているかが前提である。庁舎が分かれていることによって、本来なら、使わなくてよい1億円のお金を1年に使っている。これでよいのかと思います。よく、建てるのが前提ではないかと言われますが、審議会への諮問もそうですが、今ある施設(庁舎)が使えるのか、新しく建てるべきかなどについて検討していただいている。行政の説明がへただったのでしょうか。これは反省するとして、不効率的な行政を行なってきているので、一箇所にまとめてなんとか効率的な行政運営を行いたいということが目標です。

委員：現在の分散方式について、非常に無駄があるということをもっとPRしたらよいと思う。反対している方も理解していただけたらと思う。

委員：合併したときの経緯は、重複している無駄を省こうということがポイントだったと思う。こういうところが統合されたから、こういうふうにもスリムになったという大綱みたいなものはないか。大局的な大綱ができないか。合併した効果が見えるものが欲しい。

事務局：研究してみます。

委員：「適正な定員管理」について、計画どおりといっても、正規職員は減っても非正規職員は増えていると思う。疑問を感じている。非正規職員は、物件費の項目に入っていないか。人件費が減っているから順調に人員削減ができていっていると感じてしまう。今のこういう時節柄、職員の給与体系の見直しも必要だと思う。そういう研究が必要な時期だと思う。非正規職員の賃金が適正かという問題もある。雇用の場の提供も考えたらどうか。世界経済が大きく変わってきているので検討する時期ではあろう。

事務局：確かに正規職員は順調に削減されている。保育行政では、未滿時保育や延長保育など各家庭の多くの要望に応えるため、非常勤職員が対応している。このあたりは担当課もよくわかっており今後研究してまいります。他の職場も同じです。給与の見直しについては、人事院勧告があるが、検討はさせたい。

事務局：私のほうからは、各部に指示を出している。職員を減らすことは計画だが、今まで各町村でやってきた方法を継続していれば職員が足りなくなるので、事務事業の効率化や事業そのものの見直しも併せて行うよう指示している。効率的な行政運営に努めていきたい。

委員：今の説明で理解できた。時間外手当の縮減は本来の目的でないと思う。市民生活の向上に寄与することが本来の仕事だ。残業が多いのは課長の責任だ。多い理由は、業務内容が複雑で多すぎることで、無駄が多いこと、本人の能力がない。職員教育をやり直す必要もある。前提は、市民サービスの向上であり、やるのは効率よくやって欲しい。両立は難しいとは思う。

委員：各部に出した指令はよいことだ。市予算のうち人件費は20%もある。人件費をいかに抑え、市民サービスをどうやって維持していくか。支所窓口についてですが、戸籍や印鑑証明について、何人でやって、1日どのくらい処理しているのか、データーを取り、見方により削減していくべきだ。人を半分にしても仕事ができる政策をやって欲しい。ボトムから出てくるものを待っていてもいけない。思い切ったメスをいれていただきたいという要望もある。

② 第三セクターの経営改善等に関する市の考え方について(報告)

- ・ 出資法人等の課題に対する改善促進チーム報告書について
- ・ 三郷農業振興公社改善促進チーム報告書(中間報告)について
- ・ 豊科文化財団改善促進チーム報告書について

市内の第三セクターについての、平成20年2月18日付「安曇野市出資法人のあり方等に関する報告書」(安曇野市出資法人あり方検討専門委員会)の提言において、該当法人および市の抱える課題が判明している。市では、庁内プロジェクトチームを設置してそれら課題に対する調査・研究を行ってきた。

昨年末に、市が出資法人への指導監督責任を有することを十分自覚したうえで、各庁内チームにおいて適切な指導助言をすべき点や今後の関わり方(経営改善に関する市の考え方)が整理できたので本委員会へその報告をした。

委員：三郷農業振興公社について、ずさんな経営状態をよく理解できた。販売推進をすれば持ち直すのか？見通しは？論外な経営ではなかったか？

事務局：還元堆肥などについて、発足当時の考え方に戻そうとしています。経営が成り立たなければ値上げも生じてくる。機械のメンテナンスなども今まで以上にしっかり行ない、それなりの販売もできれば経営の再生が可能だ。収入確保など認識をもって、努力して経営を行なっていただきたい。本来の畜産振興・農業振興に積極的に取り組んでもらいたい。当時の計画がずさんというより、水分調整などがうまくいかなかったり、計画どおり経営がなされていなかったのが原因だった。

委員：もっと堆肥販売に力を入れてPRをするべきではないか。

委員：堆肥について、何の作物にも多様的に使用できるものを製造して欲しい。そうすれば販路も拡大できると思う。春先の需要期になかったことがあったので、ストックしておいて欲しい。収入面も上がるのではないか。

事務局：果樹より、どちらかというとな畑対応の堆肥ではある。ストックについては、能力が限られてはいるがフル活動すればストックの可能性もある。

委員：豊科文化財団関連について、美術館は、こういう不況下では余波を受けやすい。厳しい時代ですが、市民も協力してよい知恵を出してよい方向へ持って行って欲しい。

その他、意見質問等なく確認する。

閉会 (浅川 副会長)

平成 20 年度 安曇野市行政改革取組状況報告(12 月 1 日現在)

【総務部】

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
庁舎単位の環境保全計画の推進	実施中	<p>本庁舎（県安曇野庁舎含む）及び5総合支所毎に資源物、燃えるごみ、燃えないごみの排出量の記録をとり、光熱水費等の使用量については、四半期ごとに総務課に報告していただき、節減目標値に向け努力している。</p> <p>具体的には、昼休み時間の消灯、クールビズ、ウォームビズ、ミスプリ用紙の再利用等の取り組みをしている。</p> <p>カラーコピー、カラープリンタの使用については、パス番号の設定による出力制限までは進んでいないが、部長・支所長連絡会議において、「コピー機、プリンタ、印刷機等の使用について」職員全体に周知し、節減の徹底を図った。</p>	<p>総務課</p> <p>総合支所 地域支援課</p>
本庁・総合支所の総合的な見直し	実施中	<p>4/17に安曇野市本庁舎等建設検討委員会から「本庁舎建設についての提言書」が提出され、この内容については、市ホームページ及び広報紙で公表した。</p> <p>この提言書を受け、条例設置による安曇野市本庁舎等建設審議会を設置し、建設基本構想その他必要な事項について答申していただく。これに併せて、地域審議会には、総合支所のあり方を検討するために、総合支所に必要不可欠なサービスについて答申をお願いした。</p> <p>また、建設審議会では、建設基本構想策定のための研究資料とすることを目的に市民アンケートを現在実施中である。</p> <p>建設基本構想案が答申されれば、パブリックコメントや必要に応じて市民説明会も開催していく。</p>	<p>総務課</p>
適正な定員管理の実施	実施中	<p>計画の最終年次である平成 22 年度までにおいて、計画の達成に向けて多様な職員の任用や事務のアウトソーシングを図り取り組んでいる。</p>	<p>人事課</p>

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
一般非常勤職員配置方針の確立	実施中	<p>H19年10月に行った「平成20年度非常勤職員の職種(職務内容)別採用・勤務条件調査」及び本年度の非常勤職員の勤務条件を加味し、本年10月に平成21年度に向け、再度同様の勤務条件等の調査を行った。</p> <p>配置方針については、常勤職員の配置や組織の変更等も関係するため、随時行政改革推進室とともにヒアリングを実施している。</p> <p>(12月中に平成21年度非常勤職員の予算について、人事課長ヒアリングを行う予定で調整中12/5掲示板)</p>	人事課
人事評価制度の給与への反映	実施中	<p>昨年度の1次試行から引き続き2次試行を実施している。</p> <p>人事評価に対する職員の意識の醸成と評価の公平・公正性を確保するため人事評価研修を5月に実施し、1、2月の実施についても周知した。</p> <p>平成21年度に向けた制度の見直しについては、「人事評価制度検討プロジェクト・チーム」を組織して、3次試行に向けた人事評価制度を構築した。</p>	人事課
時間外勤務手当の縮減	実施中	<p>時間外勤務等取扱規程を定め、部署別に月別の執行管理、実施状況のフィードバックを実施して、職員の適切な勤務時間管理をしている。</p> <p>11月末の一般会計執行時間は、1,405時間で前年同月期の1,469時間に対し、95.6パーセントの実施状況である</p>	人事課
時差出勤制度の導入拡大	検討中	<p>時間外勤務等取扱規程により、時差出勤制度と同様の運用をしている部分もあることから、その状況を見極めながら、来年度以降、制度構築を検討していく。</p>	人事課
職員提案制度の確立と活用	実施中	<p>他制度との関係を整理した新職員提案制度の規程整備が完了した。2月には部長会議に諮り、全庁的な取り組みをする。</p> <p>提案募集等の運用時期は、平成21年度6月からを予定</p>	人事課
庁内公募制度の導入	未着手	<p>職員意向把握のための意向調査の実施には至っていない。</p>	人事課
各種団体の自立促進	実施中	<p>行政側から必要最低限のサポートをしながら、安曇野市国際交流協会の自立を促進する。 (ある程度自立につなげた。)</p> <p>安曇野・クラムザッハ友好会、安曇野ハートネットワーク等、他団体との関係も含めて自立促進を図る。 (今年度、豊科クラムザッハ友好会から安曇野・クラムザッハ友好会へ新たに立ち上げをした。)</p>	秘書課

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
類似した委員会・協議会等の統廃合	実施中	五地域の男女共同参画推進団体を構成団体とする「安曇野市男女共同参画連絡協議会」が平成19年2月に発足して以来、この連絡協議会を核として、全市的な活動も定着してきており、本目標もほぼ達成に近いことから、今後は、本年度に制定予定の「安曇野市男女共同参画推進条例」に規定する審議会と役割分担をするとともに、相互に連携をとりながら、今後、各種事業や計画推進を行う予定。	人権尊重課
収税等収納率の向上	実施中	◎新規滞納者をつくらないことを基本姿勢として滞納整理を実施した。具体的には督促状の発送23,084件（前年比103.9%）催告書の発送6,479件（4月7月）と電話催告を行った。夜間901件、文書1,457件、合計2,358件（6月から9月実施） ◎タイヤロック1件実施（20.6.23）し広報あづみの65号掲載した。◎インターネット公売1件実施（20.9.29）し市税へ充当し広報あづみの69号掲載した。20.11.17より歳末納税強化期間を設定し、関係する部課とともに滞納整理を実施する。20.12.28に特別休日窓口を設定し年末の滞納整理を実施する。年度末までは年間計画による滞納整理を実施する。	収納課
全庁（横断）的な収納・滞納整理体制の整備	実施中	◎タイヤロック・インターネット公売の結果の公表を行った。◎市税等収納連絡調整会議開催（20.10.22）◎収納対策本部会議開催（20.11.14）において歳末納税強化期間の取り組みについて協議。コンビに収納実施後の休日窓口廃止の検討を行った。今後、年度末対策等の協議を行う。	収納課
自主納付環境の整備（コンビに収納）	実施中	◎コンビに収納実施に向けた準備作業を行った。（市県民税・固定資産税・軽自動車税・国保税の21年4月からの実施予定）上下水道事業は20年6月より実施済み。◎収納代行業者の選定（20.4.23）◎システム事業者の決定（20.6.10）以降、先進地視察、様式、プリンターの設定順調に準備作業を進行中。テストプリント等により21.2までに準備作業を完了させ、市民に対しての広報を実施する。（広報誌、マスコミの活用）	収納課
自主納付環境の整備（休日窓口）	実施中	◎休日窓口の実施状況（4月から9月までの実績）は862件、10,986,319円（税、料金合計・特別窓口含む7回実施）◎広報あづみのへの記事掲載、防災行政無線放送による周知。個別事案については電話催告による休日窓口利用への誘導を行った。休日窓口は3月まで毎月第1日曜日に実施する。	収納課

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
本庁・総合支所の総合的な見直し	実施中	<p>消防委員会を11月までに2回開催し、委員の意見を聞きながら、検討、調整を進めている。</p> <p>○消防団出動範囲の見直し</p> <p>移動系防災無線の整備と併せて見直しを進める計画である。20年度は消防団員の出動可能な実態を1月に把握（昼・夜・休日等）し、実態に基づき隣接する方面隊の出動範囲の素案を3月には作成する予定。</p> <p>○各方面隊事務の平準化</p> <p>方面隊事務については、危機管理室で地区担当をもうけ補佐する体制としているが、更なる平準化に向け、事務のあり方を検討している。災害時等の支所役割は事務マニュアルで明確化した。</p> <p>○消防団運営補助金の見直し</p> <p>他の市の状況を把握して、消防委員会、消防団幹部に提示。団員報酬、出動謝礼も含め、検討している状況。</p>	危機管理室
受益と負担の適正化	実施中	<p>本年6月に公共施設の管理コストを基本とした使用料の試算に着手し、12月中旬までに一定の作業を完了させる。</p> <p>これらの試算結果を踏まえながら課題・問題点等を洗い出し、本年度中に受益と負担を見直すための基本方針を策定する。</p>	行政改革推進室
アウトソーシング計画の策定	実施中	<p>所管課との協議により、「安曇野市障害者活動支センター」、「豊科水辺公園マレットゴルフ場」、「豊科水辺マレットノース18」、「御宝田水のふるさと公園マレットゴルフ場」の4施設について、平成21年度から指定管理者制度を導入することとした。</p> <p>一方、平成21年度より指定管理者制度から直営による管理を予定している施設は、「穂高郷土博物館」、「鐘の鳴る丘集会所」、「穂高陶芸会館」の3施設である。</p>	行政改革推進室
指定管理者制度の導入	実施中	<p>指定管理者の管理運営に対する評価マニュアルの素案を作成し、11月に開催した指定管理者選定委員会へ提示した。選定委員会の修正意見を踏まえ、本年度中に指定管理者評価マニュアルを作成する。</p>	行政改革推進室

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
第三セクターの見直し方針の確立	実施中	<p>「出資法人あり方検討専門委員」からの提言に対して、庁内プロジェクトチームを設置してその改善方針などを検討してきた。</p> <p>10月末までに、市の考え方が整理できたので、該当する第三セクターに指導助言をする段階となった。法人に市の方針を説明することで、本目標が達成できたこととしたい。(議会全員協議会への報告は20年11月27日終了)</p> <p>なお、市出資法人あり方検討専門委員会において、法人の改善状況等の検証を年度内に実施する計画である。</p>	行政改革推進室

【明科総合支所：地域支援課】

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
指定管理者制度の導入	検討中	<p>明科産業会館について、19年度に引続いて指定管理者制度の導入を検討してきた。</p> <p>本施設が小規模であることや、利用頻度が少ないことなど、指定管理者制度の導入による大きな効果が見込めない状況にあり、当面は、現状のような市の直営管理が適当であるとの判断に傾きつつある。</p> <p>また、施設の老朽化が著しく、要補修箇所も多く発生していることから、今後は、施設の利用目的についての検討も必要となっている。</p>	明科総合支所 地域支援課

平成 20 年度 安曇野市行政改革取組状況報告(12 月 1 日現在)

【企画財政部】

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
行政評価制度の導入	実施中	<p>おおむね年度当初に計画したスケジュールどおりに進んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象事務事業の洗い出し（4月） ・研修会の開催（5月21・22日） ・プレ評価1・2次評価の実施（5月～6月） ・ヘルプデスクの実施（6月3・4日） ・プレ評価シートの添削（8月） ・添削に基づくプレ評価シートの修正（10月） ・本評価の実施（7月～8月） ・評価シートの添削（現在実施中） ・WT会議の開催 <p>今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・添削に基づく本評価シートの修正（12月～1月） ・行政評価制度体系（案）、安曇野市の行政経営体系（案）について、2月庁議に附議予定 ・最終的な体系構築は21年9月予定 	企画政策課
電子決裁等の導入検討	実施中	<p>本年7月より簡易電子決済システムとして、職員の庶務事務の8手続について稼働させシステムの評価等の情報を収集開始した。</p> <p>今後上記の分析検討を進めるとともに、近隣において導入実績が少ない状況の中、住民サービスの向上、効率性、費用対効果などを加味し検討を進めてゆく。</p>	情報政策課
ホームページの充実	実施済	<p>CMS カスタマイズを業者によって実施。バナー広告掲載に対応するよう、トップページを改修。入力方法の改善や、作成中の一時保存機能、RSS 機能などを追加また改善を行った。</p> <p>これとあわせて、変更点も同時に職員向けの操作研修会を実施した。</p>	まちづくり推進課
市民意見聴取方法の体系化	実施中	<p>パブリックコメント手続き要綱を制定した。</p> <p>メールによるもの、手紙（市長への提案）によるものなど、方法ごとに手順をフロー形式でまとめ、周知すると共に必要な書式を作成、グループウェアの共有書庫へ登録した。</p>	まちづくり推進課

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
市民参加システムの構築 ・市民参加指針の策定	指針は策定済み 実施中	「市民と行政の協働指針」の公表と啓発として、6月に全戸配布をし、職員への研修会として指針についての説明を実施。 協働推進委員会の設置をして、協働推進のための方策の検討に取り組むこととなっているが、直接市民と関わる総合支所との関係等で検討中である。	まちづくり推進課
非営利公益市民活動の促進(NPO等) ・市民活動センターの設置	実施中	市民活動センターは、市民活動団体「わの会」が立ち上がり、市とパートナーシップ協定を締結し、10月7日にオープンした。現在、月～金曜日の午前半日は行政が運営し、午後半日と土曜日の1日については、「わの会」が担っている。また、月に1回全館の清掃を行っている。 管理のみで、活動は「わの会」独自のイベントが予定されてはいるがこれからの取組みになる。実際の情報収集、情報発信等についても取組みの支援を実施中である。	まちづくり推進課
広告事業導入の検討	実施済	広報紙、ホームページ共に、広告代理店に入っていたが、広告主を募集、10月から掲載を実施した。	まちづくり推進課
物件費の削減	実施済	決算統計による分析を行った。 (物件費に係る経常経費については、81,151千円の増加により経常収支比率を0.1%引き上げてしまった。これは主に保育所臨時職員賃金の増加、中・南部給食センターの維持管理費の増加による。) 特に増加しているのは、臨時職員賃金、及び施設の管理に係る委託料、及び光熱水費であり、現在の状況ではこれら経費の削減は非常に困難な状況ではあるが、当初予算編成においても「健全な自治体経営の実現に向けた取組み」を重点目標とし、経費削減強化を促した。	財政課
補助金の見直し	実施中	補助金申請時における適正化を確認しており、概ね改善に向けた取組みが浸透してきている。 しかし、補助率などについては、まだ高いものも存在するので、引き続き確認を行いながら、担当での調整を促している。	財政課

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
扶助費の見直し	実施中	扶助費単独分の洗い出しを行い、9月に担当者との打合せ会を行った。 「扶助費（単独）見直し調書」により、担当としての見直しの可能性を整理してもらい11月にこの調書を提出してもらった。 年度末までに調書の整理を行い、担当課長会議などでさらに検討を行う予定としている。	財政課
財務分析の公表	実施済	11月までに財政援助出資団体を含めた連結財務諸表の4表を作成し、12月にホームページ、広報誌への掲載を行い、公表した。	財政課
入札及び契約方法の見直し	検討中	① 県の電子入札システムの開発費が確定しないことと、共同使用する市町村が不明確のため、市の負担金が不明確です。このため、県の電子入札システムが稼動した翌年の、平成23年度からの共同使用を検討しています。 ② 現在の契約システムでは、来年度から本格実施となる総合評価落札方式による一般競争入札と制限付一般競争入札への対応ができないため、来年度カスタマイズが必要となるため、カスタマイズの内容を検討しています。	契約管財課
電子入札の導入	検討中	① 電子入札システムについては前段の理由による。 ② 金抜き設計書の市ホームページでの公開については、ホームページのサーバー容量に不安があるため新年度からCDでの販売を検討中。	契約管財課
市有財産の整理処分	検討中	旧三郷村一日市場村営住宅跡地については、建築住宅課が将来の市営住宅建設予定地としたため他の3箇所について公売に付すために境界確定は済み、価格決定の為の不動産鑑定を行っている。年度内には公売予定である。	契約管財課

平成 20 年度 安曇野市行政改革取組状況報告(12 月 1 日現在)

【市民環境部】

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
各種団体の自立促進 (交通安全協会)	検討中	支所担当職員と協議を重ね、環境課で交通安全協会各支部の今までおこなっていた支所の事務を精査、統一して一括おこなうことを支部役員との会議に提案したが、受けいれてもらえない。 現在、交通安全協会各支部にこの提案を持ち帰って検討していただいている。 今後、来年 1 月に再度会議を持つ計画である。 会議等経過 4/8 本庁・支所担当職員打合せ 5/14 本庁・支所担当職員打合せ 6/25 本庁・支所担当職員打合せ 10/15 本庁・支所担当職員打合せ 11/13 交通安全協会各支部役員と打合せ	環境課
各種団体の自立促進 (防犯指導員)	検討中	以前の組織、取組が違うため支所担当職員と協議を重ねてきたが、関係組織に提案する内容に至っていない。 今後、提案内容をまとめ、関係組織と協議をおこないたい。 会議等経過 5/14 本庁・支所担当職員打合せ 9/2 安曇野防犯協会連合会との打合せ 9/18・19 本庁・支所担当職員打合せ 11/24 安曇野防犯協会連合会との打合せ 11/24 本庁・支所担当職員打合せ	環境課

【健康福祉部】

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
アウトソーシング 計画の策定	実施中	H21 年度における保育所給食調理業務の委託に向けて市内 10 保育園の委託業者選定のためのプロポーザルを H20. 12. 25 に実施予定	児童保育課

平成 20 年度 安曇野市行政改革取組状況報告(12 月 1 日現在)

【産業観光部】

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
各種イベントの統廃合	検討中	<p>今夏に開催された各種イベントの反省や決算を年内に行うよう進めている。</p> <p>あやめ祭りは観光協会が主体となって実行委員会を再組織して運営にあたりスムーズな運営ができた。</p> <p>安曇野花火及び安曇野フェスタは全市イベントとして定着しつつあります。市民協働もよい方向での参画が行われている。</p> <p>安曇野祭り、わさび祭りは実施方法の刷新が求められているが、統廃合については地区イベントの色合いが強く残っており早急な改革は困難である。担当課内では議論を進めている。</p> <p>新年度計画の中で随時提案していく。</p>	商工観光課

平成 20 年度 安曇野市行政改革取組状況報告(12 月 1 日現在)

【都市建設部】

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
物件費の削減	実施中	<ul style="list-style-type: none"> ・土地台帳システム構築に関わる要約書入力作業については、平成 21 年度完了に向け、作業進捗率の把握を密にして作業の集中化に努めている。 ・土地台帳システム構築により、支所の土地台帳加除委託を廃止することで新年度予算に反映した。 ・また、支所独自システムについても業務委託の削減が図れるよう検討中である。 ・システム構築後の入力作業については、業務内容の充実とともに、効率化や迅速性が図れるよう調整して行く。 	監理課
類似した委員会・協議会等の統廃合	実施中	<p>目的が達成されつつある同盟会・協議会については、幹事会等の折に、組織の存置について問題提起を行なった。</p> <p>構成市町村個々の考え方の統一には至っていない。</p>	監理課
物件費の削減	実施中	<p>道路改良地元説明会用の概略図面は、GIS 等を活用し作成している。</p> <p>舗装工事の測量・設計は、直営で実施。</p> <p>補助事業で交付される事務費を限度額いっぱい取り、人件費・需用費等に当て一般財源を削減してきた。</p>	建設課
指定管理者制度の導入	実施中	<p>取組方針である「都市公園・碌山公園」の指定管理業務の内容見直しについては、公園の清掃等管理部門の位置付けを精査することにより、取組目標が達成できた。</p> <p>なお、都市公園碌山公園の施設運営を「碌山美術館」に指定管理者委託を行っています。そこで、碌山美術館の芸術文化の発信施設等の観点から考慮して、教育委員会文化課に「研成ホール」の施設管理の所管替えを依頼している状況です。</p> <p>また、研成ホールを都市計画課以外の部署が管理することができるかを「長野県・都市計画課」に協議しています。</p>	都市計画課

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
物件費の削減	実施中	<p>建替え及び用途廃止予定団地については、入居募集を停止し政策空家をつくと共に、修繕は緊急性の高いもの以外は実施しない。</p> <p>建替え・用途廃止の団地及び実施時期を具体化し、団地ごとの今後の活用計画を明確化するため、現在「市営住宅ストック総合活用計画」を策定中であり、12月1日開催の庁議において、計画案を提示し承認された。これにより12月中に完成見込みとなった。</p> <p>今後、この計画に基づき、より効率的な市営住宅の維持管理等を推進していく。</p>	建築住宅課

【上下水道部】

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
アウトソーシング計画の策定	実施中	<p>平成 22・23 年度において上水道窓口・検針・賦課業務等を民間に委託するにあたり、10月に業務課・上水道課メンバーによるWGを立ち上げ、事業項目の洗い出しと委託の可能性のランク付けを行った。</p> <p>また、11月は長野市の視察を実施し、更に年度内に2箇所程度の視察を予定している。</p>	業務課

平成 20 年度 安曇野市行政改革取組状況報告(12 月 1 日現在)

【教育委員会】

取組項目	進捗状況	取組内容等	所管課
<p>学校予算の学校間不均衡是正と必要経費見直し、削減</p>	<p>実施済</p>	<p>業務内容の統一を図り不均衡是正をさらに進めるため、手数料、委託料等については、できるだけ一括契約を行なうことにより経費の削減をはかった。</p> <p>平成 20 年度一括契約に付した事務事業 7 事業 (高架槽・受水槽清掃点検 10 校、プールろ過機点検 16 校、遊具点検 10 校、学校警備業務委託 17 校、電気保安管理委託 17 校、消防設備点検委託 17 校、地下タンク点検委託 8 校)</p> <p style="text-align: right;">契約合計額 15,844,479 円</p> <p>(平成 19 年度上記事業に係る予算額 18,587,745 円)</p> <p style="text-align: right;">経費削減額 7 事業合計 2,743,266 円</p> <p style="text-align: right;">(前年度対比 85.24%)</p>	<p>学校教育課</p>
<p>アウトソーシング計画の策定</p> <p>市内 4ヶ所の学校給食センター及び穂高幼稚園分室の調理・洗浄・運搬業務を、平成 21 年及び平成 23 年において民間に委託するため、委託化方針を策定し、保護者等の理解を得、円滑に移行するため必要な準備を行う。</p>	<p>検討中</p>	<p>平成 21 年度に計画している穂高学校給食センター及び穂高幼稚園の民間委託について、穂高地域の保護者(PTA 会長)・学校長に説明会を開催したが、古い施設である穂高センターをなぜ先行して委託するのか等に理由により、理解を得られていない。</p> <p>また、調理員は、正規職員の退職不補充や事務部門への異動により、4センターの調理員 59 人中、正規職員は現在 5 人のみである。(5 人も今後 4 年間で全員退職。他に嘱託が 6 人。)ほとんどの調理員は、臨時職員で対応している。</p> <p>委託経費について、業者から概算の見積書を提出していただいたところ、正規職員が減少しているので、現在の臨時職員主体の直営より委託したほうが、割高になることが予想されるので、再検討をしている。</p>	<p>学校給食課</p>